

## 令和6年度 鹿児島県総合防災訓練へ 参加しました(奄美市)

今年度の県総合防災訓練が奄美市では10年ぶりに開催されました。今訓練では奄美大島近海を震源とするM8.2の地震が発生し、それに伴い生じた津波・崖崩れ、また同時期に大雨・洪水警報が発令され、山崩れや崖崩れなどへの警戒が必要となったという複合的な災害が想定された訓練でした。訓練には一般市民を始め、警察・消防・自衛隊など約80機関から1,000人程が参加しました。

当院からDMATチームの一員として医師1名、看護師2名、業務調整員2名で訓練参加しました。DMATチームの訓練は大きく2つ行われ、1つ目は民間航空が使用できないことを想定した海上自衛隊輸送機によるDMAT隊員の搬送訓練、2つ目は被災地での本部設置・運営、広域搬送拠点臨時医療施設(以下SCU)設置、合同救出・救護訓練でした。1つ目のDMAT隊員の搬送訓練では、鹿児島空港から奄美空港まで実際にC-130Rという輸送機に搭乗しました。搭乗口や搭乗方法など違いが多々あり、ほとんどの隊員が初めて搭乗する機会となり、とても良い経験となりました。2つ目は鹿児島県DMAT隊員53名がそれぞれ、①県現地対策本部設置・運営訓練、②現場指揮所設置・運営訓練、救護所訓練、③SCU設置・運営訓練に割り当てられました。①にドクターヘリ調整本部を内設、③のSCU訓練は能登半島地震で得られた教訓からできたもので今回が初の試みでした。我々鹿児島医療センターDMATは②の訓練に割り当てられました。その中で当院ロジ担当が現地指揮所に配置、当院医師が救護所リーダーに任命されたため、鹿児島医療センターDMATが救護所運営の中核を担うこととなり大変重要な役割を与えられました。救護所運営は設営から行い、導線やベッド数、ゾーニングなどを参加チームで話し合いながら行いました。離島訓練であり、航空医療のニーズが高くなるため、いかに重症患者搬送を円滑に行うかが肝でした。訓練が始まると次々に救護患者が搬送され、実践さながらの訓練でした。現場視察に来られていた塩田知事への対応・説明というイレギュラーもありましたが無事に訓練を行うことができました。

今回の訓練では、救護所の設営から始まり患者情報を記録する内容や搬送までの手順など、他のDMAT隊員と話し合いながら進めることができ、当院での災害訓練にも生かせる部分が多くありました。今後も積極的に訓練に参加し、院内の災害対策や災害訓練等で貢献できるよう努めていきたいと思っております。

(文責：臨床工学技士 溝口 将平)



# 診療科紹介 — 耳鼻咽喉科 —

鹿児島医療センター耳鼻咽喉科は主に頭頸部がん診療と悪性疾患・良性疾患に対しての手術を中心として行っています。鹿児島県内では耳鼻咽喉科領域の手術を最も行っている施設となっています。また、窒息や嚥下困難の原因となる咽頭・喉頭・頸部・中耳などの重症炎症性疾患や比較的早めの対応が必要な突発性難聴、顔面神経麻痺などの症例も急患として受け入れています。悪性疾患に対する診療は2023年度は150例以上、手術室で行った手術症例数は750例以上で現在は5名の医師で対応しています。

悪性腫瘍は頭頸部がんといわれる咽頭癌(上、中、下)・喉頭癌・口腔癌といった代表的な癌から、唾液腺癌・鼻副鼻腔癌・聴器癌などの希少癌なども治療対象にしています。頭頸部癌は他部位の癌と比べて治療による機能障害が出やすいといわれており、様々な治療法を組み合わせることで生活の質を可能な限り温存して癌の根治を目指します。頭頸部癌治療における標準治療として、手術・放射線治療・抗がん治療が3本柱として挙げられ、機能温存をなるべくはかり根治率を追求するように3つの治療を併用して行うことが一般的です。その他に、症例によっては他施設と連携を行い粒子線治療という特殊な放射線治療を行うこともあります。また、現時点では再発や根治治療困難な症例に対してのみ対象となりますが、免疫チェックポイント阻害薬を使用した免疫療法、アルミノックス治療という光免疫療法を行うこともあります。

頭頸部癌の手術療法は症例ごとに病変の広がりや局在、手術を受ける患者の条件などで手術術式が決定されます。しかし、腫瘍の進展範囲が広く、嚥下や呼吸の機能確保のためにやむを得ず大きく舌・咽頭・喉頭を摘出する必要がある場合には、遊離皮弁による再建術も自前で行っています。近年、より機能温存を目指すため経口的咽頭・喉頭悪性腫瘍手術を積極的に行っています。頭頸部癌に対する放射線治療(多くは抗がん治療を同時に行う)は形態的な温存は優れているものの、治療中・治療後の合併症・後遺症が他部位の身体に対する治療より多いとされ、栄養・疼痛・感染の支持療法が重要とされています。そのため、当院の他の診療科や治療に関するスタッフと協力して合併症対策をしていきます。

当院では再発した頭頸部癌に対する光免疫療法(アルミノックス治療)を鹿児島で初めて導入し、対象となる症例に治療を行っています。体内に特殊な色素のついた抗体を投与し、癌細胞に付着させ光を当てて癌細胞のみを選択的に破壊する方法で、新たな治療として注目されています。対象症例はいろいろな条件で制限がありますが、院内に頭頸部アルミノックス治療指導医が常駐していますので、相談したい方は主治医に紹介を依頼していただければ幸いです。

(文責：耳鼻咽喉科部長 西元 謙吾)

# 職場紹介

## 【西4階病棟】

西4階病棟は、血液内科・消化器内科の2つの診療科があります。病床数52床のうち無菌室19床（個室7床）を有しており、骨髄移植が行える設備を有しています。また、骨髄ドナー登録施設として、骨髄採取も行っています。今年度は無菌室2床（個室）の改修工事が行われました。

病棟は血液内科医師4名、消化器内科医師6名、看護師32名、看護補助者5名、看護クラーク1名で、患者さんとご家族を支援しています。血液内科では主に白血病・成人T細胞白血病・リンパ腫・悪性リンパ腫の診療、消化器内科では、消化器がんの化学療法を中心とした診療を行っています。病気の治療目的（根治、症状緩和）に応じて、抗がん薬治療、放射線治療、輸血療法、造血幹細胞移植の治療を行っており、治療への意思決定支援、治療中のサポート、退院支援にも力を入れています。治療の副作用に対する苦痛症状の軽減を図るとともに、治療が継続してできるようQOLの維持・向上を目指して、医師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・医療ソーシャルワーカーなど多職種で協働し支援を行っています。スタッフ教育では、がん看護の専門性を高めるために研修へ参加し、がん看護チームでの活動やLTFU外来（移植外来）での看護、意思決定に携わっています。

西4階病棟では、チーム力を意識した質の高い医療の提供に貢献するとともに、患者さんの声に耳を傾け、苦痛症状に対するケア、精神的フォローなど患者さんに寄り添う看護に取り組んでまいります。

（文責：看護師長 加藤 崇志）



▲看護師向けの新規抗がん薬学習会



▲血液内科カンファレンス



▲抗がん薬治療後の生活指導



▲消化器内科カンファレンス

鹿児島医療センター 外来診療担当表(2024年10月) TEL:099-223-1151(代) 2024年10月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金
血液内科	初診	大塚 真紀	原口 浩一	小代 彩	大塚 真紀	大渡 五月
	再診	大塚 真紀	大塚 真紀	大渡 五月	大塚 真紀	大渡 五月
	移植後フォローアップ外来※	小代 彩	原口 浩一	小代 彩	原口 浩一	
腫瘍内科				魚住 公治 (再診のみ)		
糖尿病・内分泌内科		郡山 暢之	和田 華菜子 大保 崇彦	郡山 暢之	平原 涼太郎 大保 崇彦	郡山 暢之
糖尿病療養指導外来※			糖尿病看護認定看護師			
消化器内科	消化管・胆膵	井上 和彦 千堂 一樹	福森 光 竹中 嵩博	福森 光 千堂 一樹	「処置日」	井上 和彦 竹中 嵩博
	肝臓	櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏
腎臓内科		古庄 正英		「手術日」	古庄 正英	外山 裕貴
第一循環器内科		福永 研吾 田方 健人	片岡 哲郎 高崎 州亜	茶園 秀人 今村 春一 中島 均	茶園 秀人 1循医師	高崎 州亜 福信 愛
第二循環器内科 *弁膜症外来 火曜日		馬場 善政 園田 幸一郎	田中 康博 東 健作 平塚 聖久	藤田 正浩	田中 康博 石川 裕輔 伊集院 駿	藤田 正浩 松本 洋之
不整脈治療科		塗木 徳人		塗木 徳人 蔡 榮達	二宮 雄一	塗木 徳人
脳・血管内科		松岡 秀樹 濱田 祐樹	松岡 秀樹 高口 剛	松岡 秀樹 佐藤 健朗 岩元 佳奈	松岡 秀樹 濱田 祐樹 高口 剛 (もの忘れ外来 午後のみ)	松岡 秀樹 高口 剛 川畑 裕太郎
小児科 *心臓健診 月曜日～金曜日		田中 裕治 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 砂川 雄海 二宮 由美子	田中 裕治 砂川 雄海	田中 裕治 砂川 雄海 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 砂川 雄海 二宮 由美子 吉永 正夫
放射線科	放射線治療	西森 宏雄		西森 宏雄	西森 宏雄	西森 宏雄
	画像診断 CT・MRI・RI	井手上 淳一 佐竹 有貴	井手上 淳一 佐竹 有貴	佐竹 有貴	井手上 淳一 佐竹 有貴	井手上 淳一 佐竹 有貴
心臓血管外科		峠 幸志		金城 玉洋		立石 直毅
外科・消化器外科			塗木 健介 崎田 浩徳		塗木 健介 崎田 浩徳 宮崎 俊明	
脳神経外科 *水曜日は、手術日のため外来診療休止		橋渡 貴昭	橋渡 貴昭	「手術日」	今村 純一 (完全予約制)	上野 滋登
婦人科 *完全予約制		神尾 真樹 川原 裕史 福西/弓指	神尾 真樹 川原 裕史 福西/弓指	「手術日」	神尾 真樹 川原 裕史 福西/弓指	神尾 真樹 川原 裕史 福西/弓指
耳鼻咽喉科 *完全紹介制(初めての方は医師の紹介が必要です)		松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾
泌尿器科 *火曜日は、手術日のため外来診療休止		川平 秀一郎	「手術日」	川平 秀一郎	川平 秀一郎	川平 秀一郎
皮膚腫瘍科		松下 茂人 青木 恵美 戸澤 貴久	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 岩田 昌史(第2,4週) 戸澤 貴久(第1,3,5週)	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 岩田 昌史
眼科 ※ 外来診療のみ		中尾 久美子 午後 休診	中尾 久美子	午前 休診 中尾 久美子	中尾 久美子	中尾 久美子
歯科口腔外科		中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子
専門外来	医師	緩和ケア外来 松崎 勉		腹水外来 櫻井 一宏		がんゲノム医療相談外来 鈴木 紳介
	看護師	フットケア外来 糖尿病看護認定看護師		リンパ浮腫外来 リンパ浮腫指導技術者	ストーマケア外来 皮膚・排泄ケア認定看護師	
セカンドオピニオン外来※	循環器疾患、心臓血管疾患、脳血管疾患、がん、悪性新生物、血液疾患					
マルチモディティ外来※	第2循環器内科	第1循環器内科	脳血管内科	腎臓内科	消化器内科	
『健康診断』		第一循環器内科	第二循環器内科		脳・血管内科	
受付 午前8:45～10:00						

受付時間 午前8時45分から11時00分まで  
 診療時間 午前8時45分から午後5時15分まで\*ただし、急患についてはこの限りではありません  
 休診日 土・日曜日・祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)  
 ※移植後フォローアップ外来・糖尿病療養指導外来・専門外来・セカンドオピニオン外来・マルチモディティ外来については完全予約制となっております。事前に電話確認をお願い致します  
 \*不在予定医師につきましてはお電話またはホームページにてご確認ください  
 \*歯科診療に関しましては当院入院患者さまのみとなっております  
 予約センター  
 ・専用FAX:0120-334-476 ・専用TEL:0120-680-704

お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター**(心臓病・脳卒中・がん専門施設)  
 〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号  
 (代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>  
**メディカルサポートセンター**  
 地域連携室専用FAX▶099(223)1177  
 ※休日・時間外は当直者で対応します。

